

スーパーマーケット景気動向調査

2021年8月調査結果（7月実績）
（2021年8月20日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1. 経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2. カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

1. 景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、

- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
- ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 全国スーパーマーケット協会
一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会

8月調査（7月実績）結果概況

景気判断DI 現状判断は小幅な改善

7月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は、前月から +1.1 の 42.4、見通し判断は前月から -0.2 の 37.7 となり、現状判断は小幅に改善、見通し判断に大きな変化はなかった。

経営動向調査は、売上高DI、収益DI いずれも前月よりマイナス幅を縮小した。前年は分散登校などが続き需要が高かった保存性の高い食品や、マスクなどの衛生用品、紙製品の反動が響いているものの、引き続き在宅傾向が高く、堅調な食品需要が続いている。

カテゴリー動向調査では、相場安となった青果や、前年特需となった畜産など生鮮品が不振となる一方で、気温上昇によって夏物商材が好調の日配品や一般食品は前年並みまで回復、また前年不振であった惣菜DI は大幅なプラスとなった。（カテゴリー動向については最終ページに詳細を掲載）

景況感調査では、現状判断に小幅な回復傾向もみられるものの、全体的に大きな基調の変化はみられず、前月水準での推移となった。（長期傾向についてはP11 参照）

引き続き、感染拡大への警戒感が高い状況であり、飲食店への時短や酒類提供自粛などの要請が続いている地域も多く、家飲み需要、家庭内消費需要は堅調に推移している。しかし、気温の上昇やオリンピック観戦などを背景に調理を敬遠する傾向も指摘されており、相場の影響を受けているとはいえ、これまで好調を牽引していた生鮮品にやや陰りがみられるなど、これまでとは傾向が異なる動向となった。また節約志向の高まりや、高単価商品の不振を指摘するコメントも散見されている。先が見えない生活のなかで、消費動向の変化に警戒する必要がある。

景況感調査

現状判断

景気判断DI 当月：42.4 (+1.1) 前月：41.3	消費者購買意欲DI 当月：43.8 (+1.6) 前月：42.2	周辺地域 競合状況DI 当月：43.2 (+1.9) 前月：41.3	店舗周辺地域 景気判断DI 当月：43.0 (+0.9) 前月：42.1
--	---	---	---

見通し判断

景気判断DI 当月：37.7 (-0.2) 前月：37.9	消費者購買意欲DI 当月：41.3 (+0.9) 前月：40.4	周辺地域 競合状況DI 当月：41.9 (+1.7) 前月：40.2	店舗周辺地域 景気判断DI 当月：40.6 (-0.3) 前月：40.9
--	---	---	---

経営動向調査 経営状況

売上高DI 当月：-7.7 (+5.2) 前月：-12.9	客単価DI 当月：-3.5 (+5.5) 前月：-9.0	来客数DI 当月：-8.1 (-0.6) 前月：-7.5	
収益DI 当月：-10.5 (+3.9) 前月：-14.4	販売価格DI 当月：-1.5 (+2.2) 前月：-3.7	生鮮品仕入原価DI 当月：3.4 (-0.9) 前月：4.3	食品仕入原価DI 当月：6.4 (+1.1) 前月：5.3

カテゴリー動向

青果DI 当月：-18.8 (-6.7) 前月：-12.1	水産DI 当月：-14.0 (-5.3) 前月：-8.7	畜産DI 当月：-15.2 (+0.7) 前月：-15.9	
惣菜DI 当月：14.6 (+1.6) 前月：13.0	日配DI 当月：0.7 (+10.6) 前月：-9.9	一般食品DI 当月：-0.5 (+12.4) 前月：-12.9	非食品DI 当月：-18.2 (+6.8) 前月：-25.0

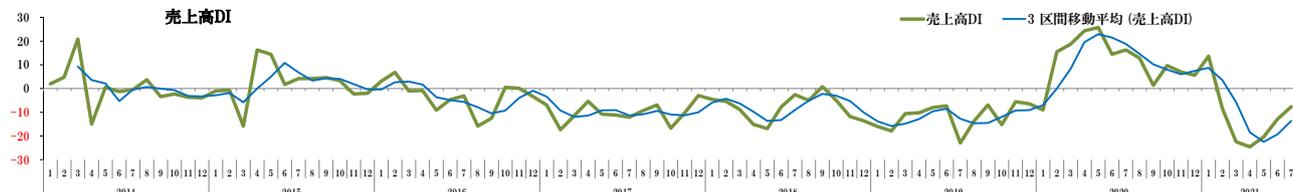
※DI 値は前年同月との比較 / () 内は前月 DI からの変化

結果詳細 I. 経営動向調査 (2014年1月～)

1. 売上高DI

前年同月との比較は5ヵ月連続マイナスも、マイナス幅は縮小

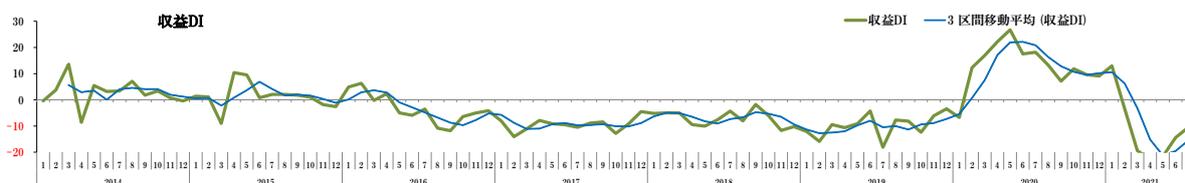
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高 (前月)	20.5	33.0	26.1	18.8	1.7	-12.9
売上高 (当月)	13.1	34.0	27.5	21.6	3.9	-7.7



2. 収益DI

前年同月との比較は5ヵ月連続マイナスも、マイナス幅は縮小

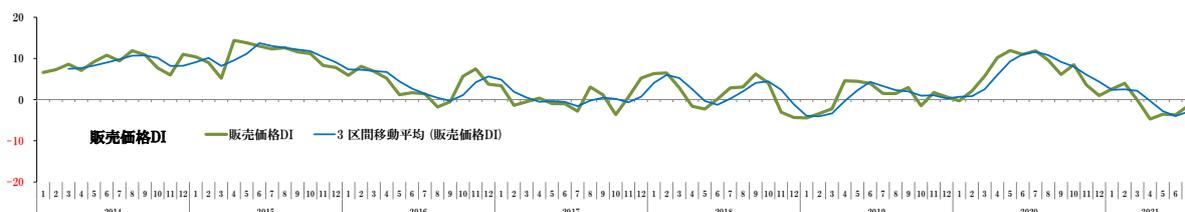
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益 (前月)	20.0	36.6	26.9	14.3	2.3	-14.4
収益 (当月)	15.3	32.7	34.0	14.7	3.3	-10.5



3. 販売価格DI

3ヵ月連続のマイナス域での推移

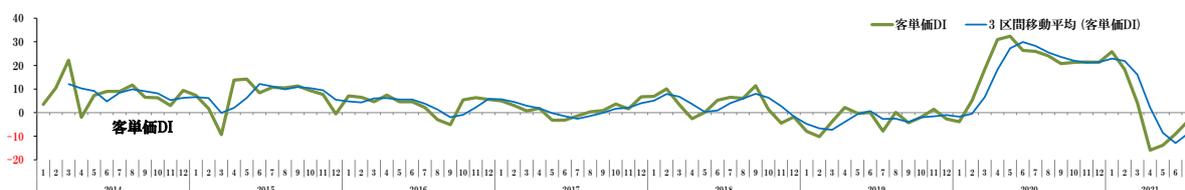
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格 (前月)	4.0	19.3	64.2	12.5	0.0	-3.7
販売価格 (当月)	1.3	17.9	66.2	14.6	0.0	-1.5



4. 客単価DI

当月小幅に上昇し、マイナス幅を縮小

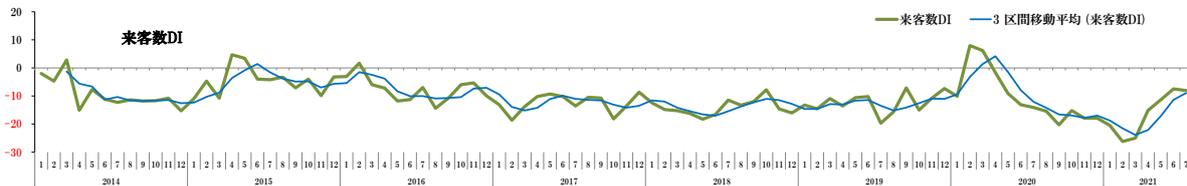
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価 (前月)	9.1	36.0	37.7	16.0	1.1	-9.0
客単価 (当月)	5.3	27.6	44.1	21.7	1.3	-3.5



5. 来客数 DI

ほぼ前月水準で推移

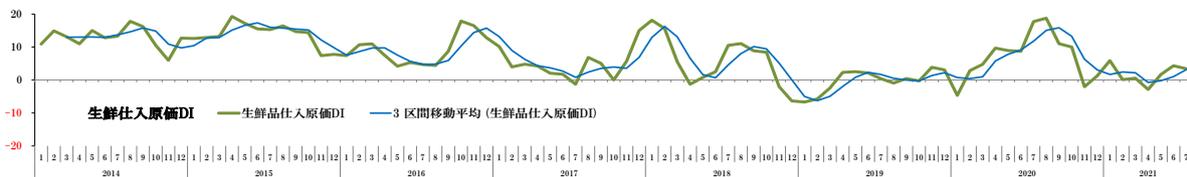
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	13.2	34.5	26.4	20.7	5.2	-7.5
来客数 (当月)	13.8	29.6	34.2	19.7	2.6	-8.1



6. 生鮮仕入原価 DI

プラス域でほぼ前月水準で推移

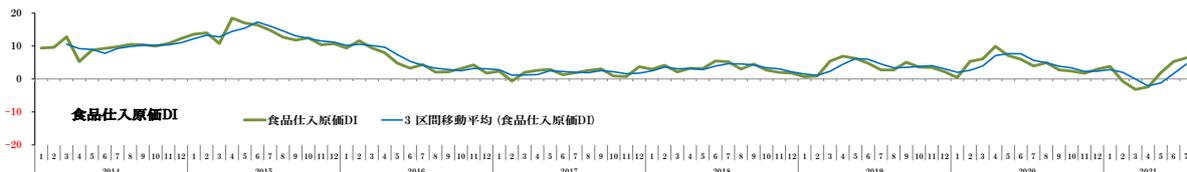
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	2.9	10.4	55.5	28.9	2.3	4.3
生鮮仕入原価 (当月)	1.4	16.4	51.4	28.8	2.1	3.4



7. 食品仕入原価 DI

プラス域でほぼ前月水準で推移

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	2.9	5.7	61.1	28.0	2.3	5.3
食品仕入原価 (当月)	2.0	6.1	58.1	31.8	2.0	6.4

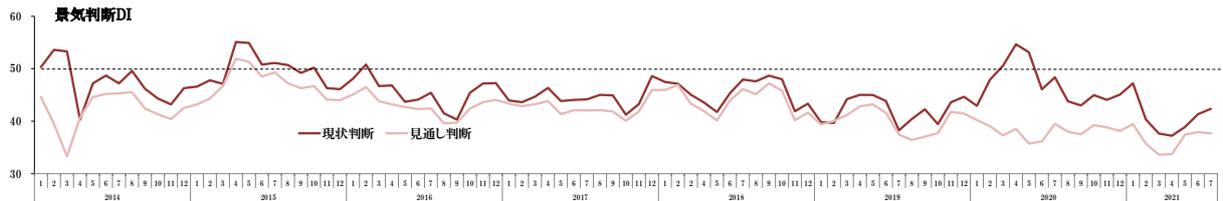


II. 景況感調査 (2014年4月～/周辺地域景況判断 2010年4月～)

1. 中核店舗景況判断 DI

現状判断は小幅に改善、見通し判断は横ばい推移

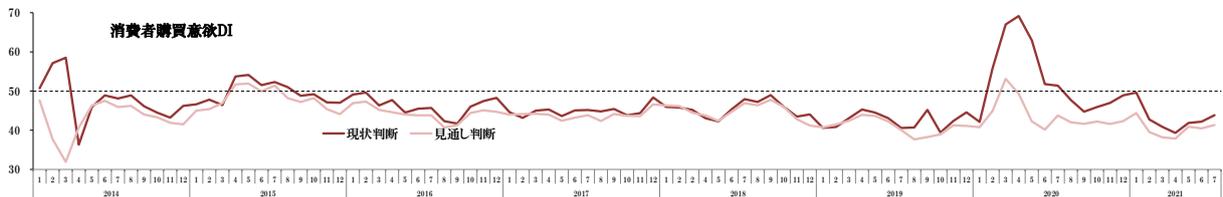
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景況判断 (前月)	5.0	32.4	54.7	7.8	0.0	41.3
【現状】景況判断 (当月)	3.2	32.5	55.8	8.4	0.0	42.4
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景況判断 (前月)	7.3	38.8	48.9	5.1	0.0	37.9
【見通し】景況判断 (当月)	5.8	39.6	52.6	1.9	0.0	37.7



2. 消費者購買意欲 DI

現状、見通し判断ともに小幅に改善

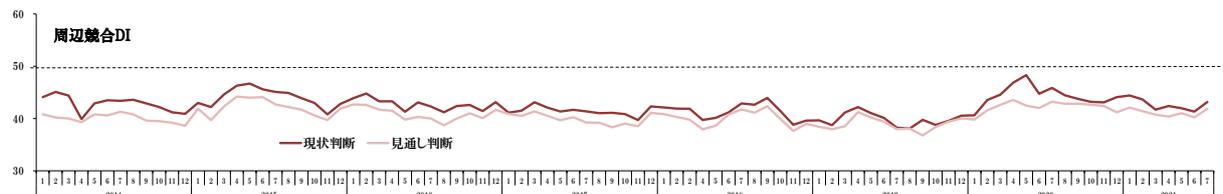
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	2.8	31.3	60.3	5.6	0.0	42.2
【現状】購買意欲 (当月)	0.6	29.9	63.0	6.5	0.0	43.8
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	3.4	34.8	58.4	3.4	0.0	40.4
【見通し】購買意欲 (当月)	1.3	34.0	62.7	2.0	0.0	41.3



3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状、見通し判断ともに小幅に改善

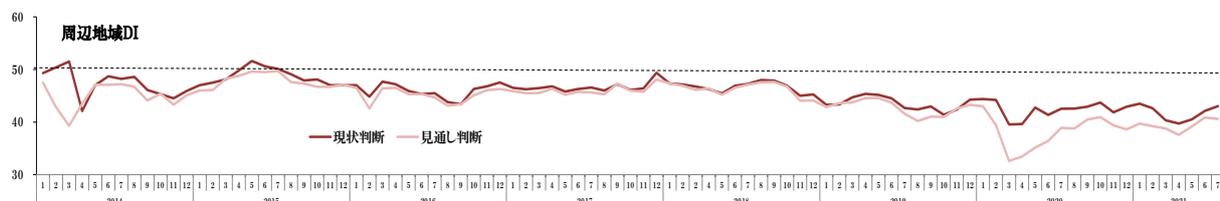
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	5.0	25.7	68.2	1.1	0.0	41.3
【現状】競合状況 (当月)	2.6	22.1	75.3	0.0	0.0	43.2
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	6.7	26.8	65.4	1.1	0.0	40.2
【見通し】競合状況 (当月)	3.9	24.7	71.4	0.0	0.0	41.9



4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

現状判断は小幅に改善、見通し判断は横ばい推移

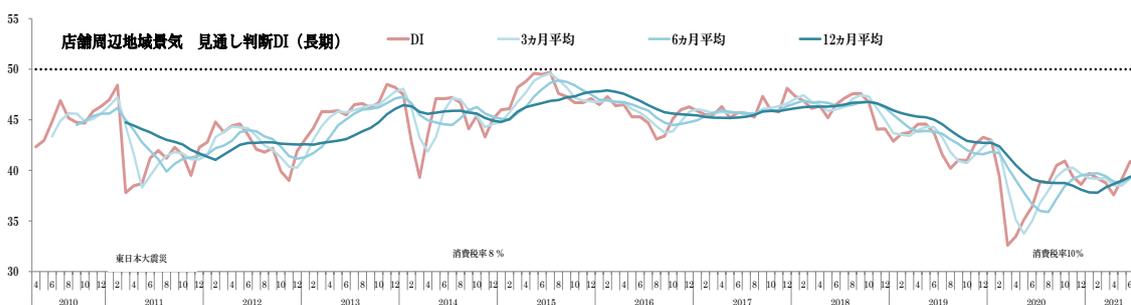
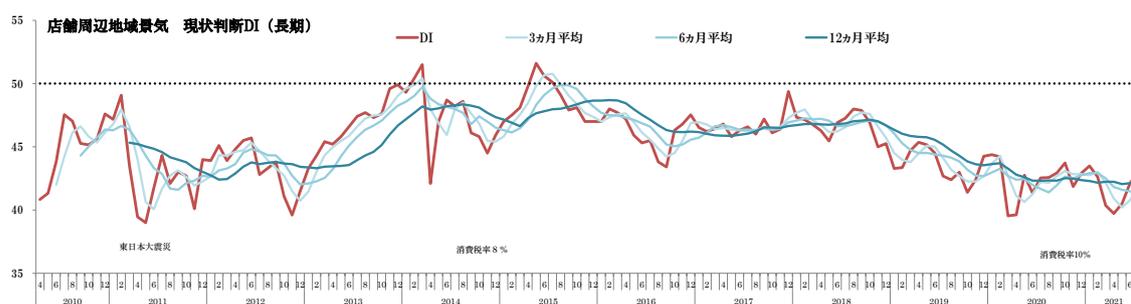
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気 (前月)	1.7	29.2	68.0	1.1	0.0	42.1
【現状】地域景気 (当月)	0.6	27.9	70.1	1.3	0.0	43.0
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気 (前月)	2.8	32.6	62.9	1.7	0.0	40.9
【見通し】地域景気 (当月)	1.9	33.8	64.3	0.0	0.0	40.6



・中核店舗周辺地域景気判断DI 長期傾向 (2010年4月～)

周辺地域景気判断DIは、2011年3月の東日本大震災以降低迷を続けていたが、12年11月から16ヵ月にわたる改善が続き、14年3月には現状判断DIが51.5を記録した。14年4月の消費税率8%への引き上げにより、大幅に悪化したものの、その後徐々に持ち直しをみせ、2015年5月には現状判断DIは51.6にまで達し、調査開始以来の最高値を更新した。

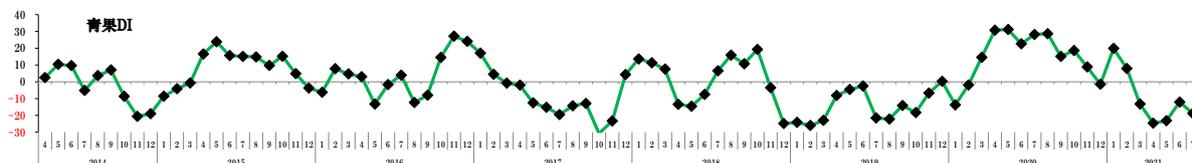
しかしこれをピークに、その後15ヵ月間にわたり悪化傾向が続き16年9月には、現状判断DIは43.4まで低迷した。以後方向感の乏しい推移が続いていたが、18年の後半から悪化傾向が顕著となり、徐々にその水準を切り下げており、19年7月には現状判断DIは42.3まで低下した。20年2月に大幅に悪化したのが、5月から10月まで持ち直しの動きが続いた。その後21年2月からは悪化するも、5月以降は小幅ながら改善傾向が続いている。



Ⅲ. カテゴリー別動向

1. 青果DI：-18.8（不調）

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果（前月）	14.7	43.5	20.0	18.8	2.9	-12.1
青果（当月）	24.8	41.6	19.5	12.1	2.0	-18.8

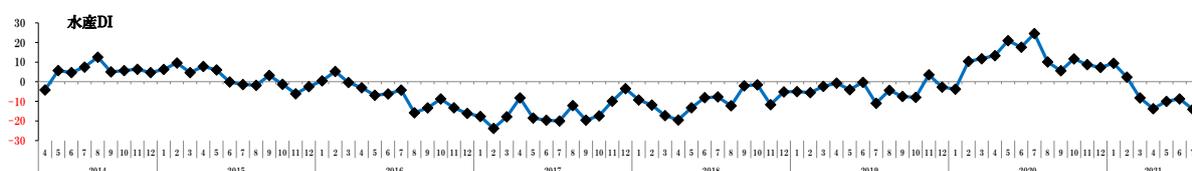


引き続き内食需要は堅調に推移しているが、前年は長雨により高騰した青果相場が今年は安値で推移した影響を受けた。前年、家庭での調理ニーズの高まりとともに、保存が利く野菜として特に好調であったタマネギやじゃがいも、ニンジンなど土物類、洋菜、キュウリなどのサラダ商材、キャベツなどの葉物類は、前年の反動も加わり不振となった。気温上昇により、ネギなどのやくみ、香味商材は好調に推移した。

国産果物はスイカやメロン、桃などが好調に推移し、カットフルーツも動きがよかった。輸入果物ではパイナップルが好調も、バナナやキウイフルーツには前年からの反動もみられた。

2. 水産DI：-14.0（不調）

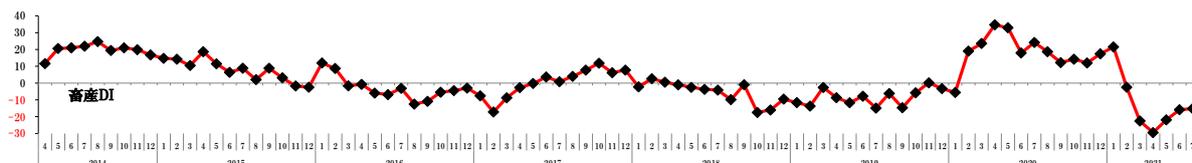
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産（前月）	11.8	39.1	27.2	16.0	5.9	-8.7
水産（当月）	15.5	43.2	28.4	7.4	5.4	-14.0



前年に需要が高まった簡便調理商品や、保存の利く塩干、冷凍加工品などに反動減がみられた。気温上昇もあり、マグロやカツオなど刺身類、寿司用の盛り合わせなどは好調となった。土用の丑を中心に、うなぎは動きがよい店舗が多いが、前年との比較では好不調がわかれた。生魚や切身については不漁により入荷が不安定となった魚種が多く、不振となった。

3. 畜産DI：-15.2（不調）

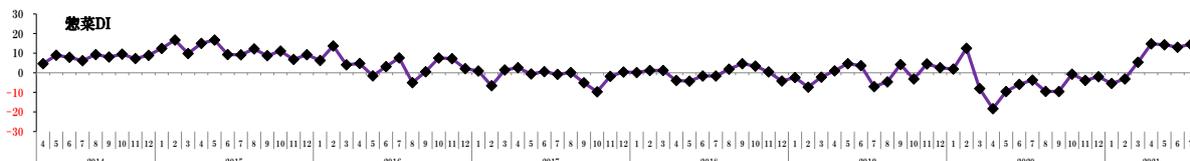
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産（前月）	20.6	40.0	25.9	9.4	4.1	-15.9
畜産（当月）	17.6	42.6	26.4	10.1	3.4	-15.2



保存に優れた畜産品の需要が増加した前年からの反動減が続いており、特に加工肉や挽肉で前年との反動が大きかった。牛肉は、気温上昇により焼肉用の動きがよく、相場高の輸入牛に比べ、国産牛が好調となった。一方でブランド牛の不振を指摘するコメントもみられた。豚肉はしゃぶしゃぶ用が好調、鶏肉は相場高の影響を受け伸び悩んだ店舗が多い。ハム・ソーセージなど加工肉は、ギフト関連商材に回復傾向がみられた一方で、一般商品には前年好調の反動もみられた。

4. 惣菜DI：14.6（好調）

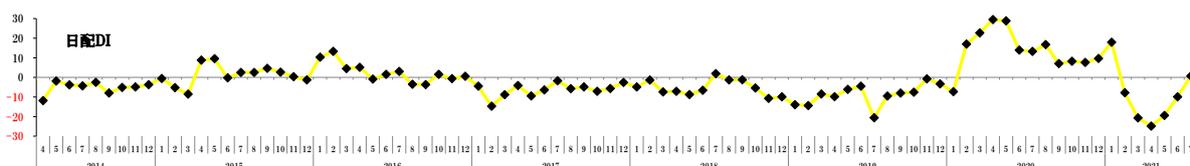
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	3.6	16.8	22.2	38.9	18.6	13.0
惣菜（当月）	2.1	15.8	21.9	42.5	17.8	14.6



前年は家庭内調理の急伸や通勤客の減少、バラ売り中止などの影響で伸び悩んだが、今年は回復傾向が続いている。在宅勤務の増加で中食ニーズが堅調。昼食向けの米飯類やベーカリー、気温上昇により寿司類や冷麺類、サラダなどの冷惣菜、自宅で調理しにくい商品群である揚げ物も好調に推移した。外食店の時短営業に加え、家飲み、自宅でのオリンピック観戦需要として、焼鳥やつまみ類も引き続き堅調に推移した。

5. 日配DI：0.7（やや好調）

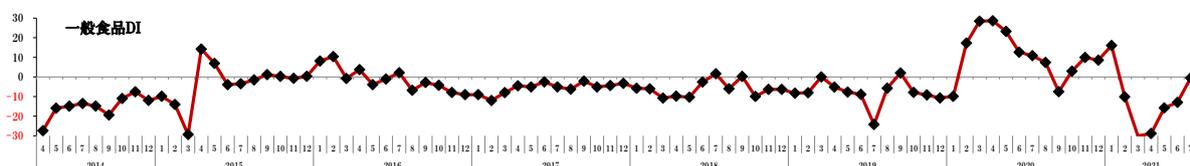
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	11.8	35.5	35.5	14.8	2.4	-9.9
日配（当月）	8.8	23.0	33.1	27.0	8.1	0.7



前年好調だった牛乳やヨーグルト、納豆やキムチや漬物などの反動減が続いている一方で、気温上昇によりアイスや飲料、冷やし中華など涼味系の麺類も好調となった。鶏卵は相場高が続いており、好不調まちまちとなった。オリンピック観戦や、調理敬遠志向に対応した冷凍食品の動きがよかった。デザート類も引き続き好調に推移している。

6. 一般食品：-0.5（やや不調）

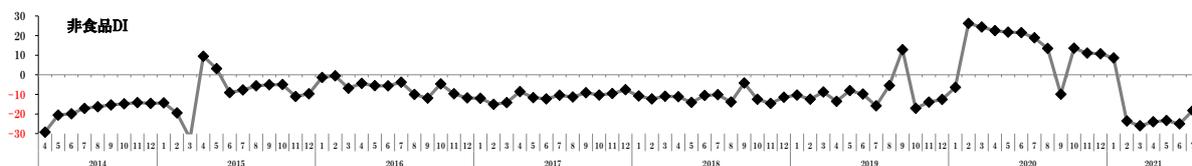
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	17.4	37.8	26.7	15.1	2.9	-12.9
一般食品（当月）	10.7	22.0	36.0	21.3	10.0	-0.5



前年に需要が高まった保存性の高い食品（米、カップ麺、パスタなどの乾麺類、シリアル、カレー・レトルト類、缶詰など）、簡便商材、穀粉類や製菓材料など手づくり商材で反動減がみられた。家庭内調理需要は継続しており、調味料は引き続き好調となった。気温の上昇とともにそうめんなど涼味商材、水、飲料の動きがよかった。飲食店の時短営業、酒類提供自粛要請やオリンピック観戦による「家飲み」により、ビールを中心に酒類や珍味などのつまみ類が好調となった。

7. 非食品 DI：-18.2（不調）

回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	36.7	35.5	19.3	7.8	0.6	-25.0
非食品（当月）	33.1	24.3	29.1	9.5	4.1	-18.2



マスクやハンドソープ、除菌関連などの衛生用品で特需となった前年からの反動が続いている。ティッシュやトイレットペーパー、キッチンペーパーなどの紙製品類についても反動減が大きかった。日用雑貨、家庭雑貨も前年からの好調が一巡しており、伸び悩んだ。気温上昇による季節商材はやや好調となった。

カテゴリー別 DI による好不調判断

かなり好調：～ 20 好調：20 ～ 10 やや好調：10 ～ 0
 やや不調：0 ～ -10 不調：-10 ～ -20 かなり不調：-20～

2021年8月調査（7月実績）キーワードTOP3

1. 気温の上昇による季節商材好調と調理敬遠
2. 青果相場安、畜産相場高
3. 前年からの反動とオリンピック観戦需要

（参考）2020年8月調査（7月実績）キーワードTOP3

1. 家庭内消費需要増大
2. 長雨や豪雨、冷夏による夏物不振
3. 客単価の上昇

スーパーマーケット景気動向調査 集計数

7月実績速報版 154社
 6月実績確報版 179社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 tokei@super.or.jp